

共 同 参 画



内 閣 府

Special Feature

特集／シンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神 ～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」の開催



主な予定

Schedule

1月12日～2月28日	平成30年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ募集
2月15日	シンポジウム「企業×女性企業家のマッチングイベント ビジネスにも運命の糸ってあるんです」(東京都中央区)
2月17日、18日	「女子大学生キャリア形成セミナー」(埼玉県比企郡嵐山町)
2月21日	男性の家事・育児応援フォーラム「これからの子育てと暮らし×デザイン」(東京都港区)
3月8日	「農業女子PJ」フォーラム2017」(東京都千代田区)

巻頭言

共同参画に寄せて

Foreword

元最高裁判所
判事
櫻井 龍子



Sakurai Ryuko

今年で、男女雇用機会均等法の制定から32年、男女共同参画社会基本法の制定から19年が経つ。最近の女性活躍推進キャンペーンのおかげもあって、私が大卒時に女子求人ゼロという状況に苦悶した40数年前に比べれば、雲泥の差と言いたくなるほど共同参画は進んだ。ところが国際的に見ると、我が国の女性の地位は低位安定(?)との結果である。この内外差の原因の一端を裁判官の経験を通じて考えてみた。

一つは、これらの法律の実効性を担保すべき裁判の少なさである。日本人は訴訟嫌いと言われるが、とりわけ企業に雇用されている労働者の訴訟提起は難しいようで、最高裁在職中に扱った関係事件はマタハラ判決など数えるほどであった。個人の権利侵害は裁判によってしか解決は難しい。個別救済の判決の積み重ねによってはじめて法律に魂が入るというものである。今後の検討が待たれる課題である。

もう一つは、家庭や家族にからむ共同参画の問題である。経済合理性が貫かれるべき企業経営においては、企業共同体の崩壊と相まって、女性の活用・登用は早晚進んでいくものと楽観しているが、経済合理性が適合せず、共同体としての役割が依然として期待されている家庭や家族といった場面における問題が、置き去りにされがちにならないか心配している。夫婦別姓訴訟に直面した時その懸念を強くした。難しい問題だが避けては通れまい。

目次

Contents

特集	シンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神 ～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」の開催	Page 02
行政施策トピックス1	平成29年度パートタイム労働者活躍推進企業表彰の受賞企業について	Page 05
行政施策トピックス2	平成29年度「女性が輝く先進企業表彰」	Page 06
行政施策トピックス3	G7男女共同参画大臣会合等について聞く会	Page 08
行政施策トピックス4	農業の魅力と女性の活躍を発信！“農業女子プロジェクト”	Page 10
連載	その1 女性活躍の視点からみた企業のあり方⑩ 女性活躍推進とダイバーシティ／矢島 洋子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生社会室室長主席研究員）	Page 12
	その2 地域における女性の活躍推進⑮ 女性の力で地域の課題を解決する	Page 13
取組事例ファイル（団体編）	「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者の取組 石田 建昭（東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 代表取締役社長 最高経営責任者） 奥村 直樹（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 理事長） ジェローム・ブリュア（日本ロレアル株式会社 代表取締役社長） 滝 久雄（株式会社ぐるなび 代表取締役会長 CEO・創業者）	Page 14
ニュース&インフォメーション	政府インターネットテレビ特別座談会「家族の幸せは、家族でつくる。」他	Page 16
男女共同参画センターだより	仙台市男女共同参画推進センター（エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台）	



シンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神 ～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」の開催 内閣府男女共同参画局総務課

シンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」の開催

平成29年11月12日(日)に京王プラザホテル(東京都新宿区)、12月17日(日)に大阪新阪急ホテル(大阪府大阪市)において、内閣府主催のシンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」を開催しました。

本シンポジウムは、内閣府が平成28年度から実施している「アジア・太平洋輝く女性の交流事業」の一環として開催しており、我が国とアジア・太平洋諸国において活躍している国内外の「架け橋女性」(アジア・太平洋諸国と日本の両国を知り、お互いの国の発展・交流に貢献している女性)の活躍に焦点を当てています。本年度は、起業に携わる女性が、アジア・太平洋諸国と日本の両方でのような経験をしてきたか、今後の活躍に向けた課題等を共有するため、東京会場に21名、大阪会場に8名の「架け橋女性」を招聘しました。

野田大臣からのビデオメッセージ

開会に先立ち、野田聖子内閣府特命担当大臣(男女共同参画担当)、女性活躍担当大臣からビデオメッセ

ージが寄せられました。



野田大臣からのビデオメッセージ

野田大臣は、まず、本事業の趣旨として、我が国が、戦後、平和国家として、隣人であるアジア・太平洋諸国と共に歩んで来たこととともに、戦後70年を迎え、特に女性の交流を通じ、我が国とアジア・太平洋諸国の友好・信頼関係を深化させるため、昨年度から本事業をスタートしたことを紹介しました。

多くの「架け橋女性」が、我が国の魅力を海外に広め、また、海外の視点を我が国に広げ、地域の友好・信頼関係構築のための架け橋となっていることへの感謝を示されました。

また、こうした機会を通じ、将来の架け橋女性、あるいは架け橋女性の良きサポーターが生まれ、個性と能力を生かして輝く女性が増えることにより、我が国、ひいてはアジア・太平洋地域の女性活躍推進のムーブメントが一層広がっていくことへの期待が示されました。

基調講演(東京会場)

東京会場の基調講演は、「やらず

後悔が一番残念、女性起業家精神で拡がる世界」というテーマで三原理絵氏(株式会社誠や 代表)にお話いただきました。



三原氏による基調講演(東京会場)

東日本大震災のボランティアで、食事の支援をしてくれたパキスタン人との出会いが、三原氏の海外起業のきっかけでした。いつか彼らの故郷であるパキスタンに自分の仕事を通して何か恩返しをしたいという強い思いから、2016年にパキスタンに移住し、パキスタンのお母さんと赤ちゃんのための衛生用品の販売やパキスタンに進出を検討している日本企業のマーケティングサポートを行うビジネスを展開しています。

三原氏は、「会場にわざわざ足を運ばれた皆さんも、既に挑戦者であり、何かやってみようというのなら、まずは1歩目を踏み出してみよう。1歩目を踏み出せば、勝手に2歩目が付いてくる。あとはその繰り返しである。もし、しんどくなってしまったら、1回立ち止まって休んでみるのもいい。とにかく、これをやってみようという自分の何か魂が揺さぶられるようなことがあ

内閣府は、平成29年11月・12月にシンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ女性起業家精神 ～「架け橋女性」とのネットワークを通じて広げよう～」を開催しました。ここではその概要をご紹介します。

るのであれば、まず1回挑戦してほしい。」という力強いメッセージを会場の参加者に贈りました。

基調講演（大阪会場）

大阪会場の基調講演は「ワクワクとグラグラが未来を創る」というテーマで奥田浩美氏（株式会社ウィズグループ代表取締役）にお話いただきました。



奥田氏による基調講演（大阪会場）

奥田氏はいつも「これから先は片足だけついて生きていきましょう」と言っているそうです。片足だけついて立つとグラグラしてしまいますが、グラグラするという事は自分の行先がたくさんあるということであり、ワクワクしながら次の足をどこに置こうかと考えることができることでした。いろいろなことに悩みながら、どこに活動を見いだしていこうと思っている人が多いのですが、ワクワクとグラグラこそが、変化の激しい今の時代に合っているのではないかとのお話をいただきました。

パネルディスカッション

基調講演後、「成功の鍵ーネットワークを広げよう！女性たちー今こそ行動のとき」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

東京会場では、モデレーター、奥田浩美氏の下、白木夏子氏（株式会社HASUNA代表）、濱田真里氏（株式会社ネオキャリア海外事業部編集ディレクター、ABROADERS編集長、なでしこVoice代表）、橘幸帆氏（ユーネットインターナショナル株式会社社長）、繁田奈歩氏（株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ代表）によるディスカッションが行われました。



パネルディスカッション（東京会場）

また、大阪会場ではモデレーター、文美月氏（リトルムーンインターナショナル株式会社取締役副社長）の下、濱田真里氏、宮城治男氏（NPO法人ETIC代表理事）、三原理絵氏、村田早耶香氏（認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクト共同代表）によるディスカッションが行われました。



パネルディスカッション（大阪会場）

このセッションでは、参加者から事前に寄せられた質問も踏まえ、起業のきっかけについてお話しいただいた後、起業におけるネットワーキングの大切さ、ネットワークをつくるために、各々どのような工夫を行っているかについて様々な意見が交わされました。

橘氏からは、仕事関係者以外の人と付き合うことが、意外なところで自らのビジネスにつながっていくという意見が、白木氏からも異業種の方とつながることで最先端のビジネスのやり方を教えてもらうことができ、それらを取り入れて自ら実践することで、イノベティブなビジネスのモデルをつくることできるとの意見がありました。

繁田氏からは、いろいろな人と会うときに、相手方にもう一度会ってみたいと思わせるように、相手に対してどうベネフィットを設計できるかを考えて行動することが重要なのではないかという意見が、宮城氏からは、自分がどういう人とつながりたいのか、まさにどういうネットワークをつくりたいかということを明確になればなるほどネットワークは

シンポジウム「アジア太平洋と日本を結ぶ 女性起業家精神 ～「架け橋女性」との ネットワークを通じて広げよう～」の開催

広がっていき、本当に必要な人と必要なタイミングでつながるとい流れに乗れるとの意見がありました。

濱田氏からは、SNSなどを通して簡単にメッセージはやり取りできる時代だからこそ、この人とはつながりたいと思うとあえてポストカードを送っているとの工夫が語られました。

村田氏からは、創業時にビジネスコンペに出て、社会的に信頼を集めている審査員を味方につけることでネットワークを広げたという体験談が、また、三原氏からは、日本貿易振興機構（JETRO）、国際協力機構（JICA）などの公的機関、大使館・領事館の職員などを通じてビジネスの基盤となるネットワークを広げることができたという体験談が語られました。

モデレーターの奥田氏からは、ただ繋がれば良いのではなく、自らが人脈を通して情報を発信して、初めて何か戻ってくる、循環するというネットワークをつくっていくことがすごく大切との意見があり、文氏からは、自分ができないことや弱点を発見し、そこに周りをうまく巻き込んでいくということが大切であるとの意見が語られました。

グループディスカッション

パネルディスカッションの後、登壇者、架け橋女性、一般の参加者を交え、各テーブルに分かれて、グル

ープディスカッションを行いました。実際に起業を経験した架け橋女性から直接お話しを聞ける機会とあり、どのグループでも非常に活発な議論が行われ、架け橋女性の知見、経験などの共有が行われました。

参加者からの反響

本シンポジウムは、東京会場と大阪会場合わせて約170名の一般参加者にご来場いただきましたが、シン

ポジウム終了後に行われたアンケートでは、「背中を押してもらえた。」「とても魅力的な方ばかりで力をもらえました。」などの感想が寄せられました。

本シンポジウムを含む事業の結果については、平成29年度内に報告書を取りまとめ、内閣府HP等で公表予定です。起業に興味を持っている方、将来の進路に悩んでいる方は、ぜひ読んでいただき、迷った際の道しるべとしていただけると幸いです。



登壇者・架け橋女性（東京会場）



登壇者・架け橋女性（大阪会場）



平成29年度パートタイム労働者活躍推進企業表彰の受賞企業について

厚生労働省雇用環境・均等局
有期・短時間労働課

厚生労働省では、パートタイム労働者の活躍推進に向けて積極的に取り組んでいる企業等を「パートタイム労働者活躍推進企業」として表彰しています。

このたび、本表彰の平成29年度の受賞企業6社を次のとおり決定しました。

=====

【平成29年度受賞企業一覧】

◇最優良賞（厚生労働大臣賞）

株式会社光洋
（大阪府、スーパーマーケット）

〔表彰理由〕

多段階評価を取り入れた人事評価制度、業務に必要な知識・技術を体系的に習得・検定できる独自の「マルチラーニング」によるパートタイム労働者の育成・昇格や、実技コンクールや他店舗視察ツアーにより意欲向上をめざし、スムーズな正社員への転換を図っている。また、社内提案制度、幹部社員とのミーティング等、パートタイム労働者の声を経営に活かしている。

◇優良賞（雇用環境・均等局長優良賞）

株式会社 北都銀行
（秋田県、銀行業・保険業）

〔表彰理由〕

新人事制度を導入し、パートタイム労働者も正社員と同じ仕組みの中でキャリアプランを自ら考え、上司や人事担当者と共に共有している。その結果、パートタイム労働者の自ら気づかなかつた能力が引き出され、キャリア支援を含め納得性のある処遇制度を実現している。

◇奨励賞（雇用環境・均等局長奨励賞）

イオンビッグ株式会社
（愛知県、ディスカウントストア）

〔表彰理由〕

人事評価表に基づきパートタイム労働者を着実に評価し、その結果を「部門給」、「資格給」、「地域給」、「職位給」、「能力給」等7つの要素からなる時給に反映させ、処遇への納得度を高めている。

小太郎漢方製薬株式会社
（大阪府、製造業）

〔表彰理由〕

正社員登用までのルートを明確にし、正社員と分け隔てなく計画的に教育することにより、パートタイム労働者の平均勤続年数が10年を超えるなどの成果につながっている。

株式会社サッポロドラッグストア
（北海道、小売業）

〔表彰理由〕

パートタイム労働者の大部分を占めるパートナー社員の資格等級制度の導入、評価制度の透明化など総合的な取組を行い、パートタイム労働者の働く意欲を高めている。

株式会社 常陽銀行
（茨城県、銀行業・保険業）

〔表彰理由〕

人事評価の明確化と昇給への反映により、パートタイム労働者の評価・処遇の納得性を確保している。また、個々の能力開発計画を策定し、教育研修や認定制度を活用して、パートタイム労働者のスキル向上やキャリアアップの動機づけにつなげている。

=====

詳しくは次のサイトをご覧ください。

[パート労働ポータルサイト](https://part-tanjikan.mhlw.go.jp)

URL: <https://part-tanjikan.mhlw.go.jp>



平成29年度 「女性が輝く先進企業表彰」

内閣府男女共同参画局総務課

平成29年12月13日、総理大臣官邸において、安倍内閣総理大臣、野田内閣府特命担当大臣（男女共同参画）の出席のもと、「女性が輝く先進企業表彰」表彰式を行いました。

この表彰は、女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取組及び実績並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業に授与されるもので、4回目となる本年度は、内閣総理大臣表彰として2社、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰として5社が表彰されました。

安倍総理は表彰式冒頭の挨拶の中で、「企業の皆さんが、女性活躍こそ将来の成長に不可欠と気付き、意識が変わり行動が変わることで、女性が輝く社会の実現に向かってより強く前進できると考えております」「本日お集まりの企業には正にリーディングカンパニーとして、これからも女性活躍に積極的に取り組んでいただき、日本中の企業に良い刺激を与えていていただきたいと思います」と

述べました。

表彰式の前には、野田大臣と受賞企業の代表者との懇談会を開催しました。各社からは、特色ある先進的な取組を紹介いただくとともに、「女性の活躍は会社にとって極めて重要な経営課題」「マネジメントは男性が占める傾向があり、女性のキャリア形成支援に資する研修が大切」「女性の営業職が気持ちよく仕事できれば、会社全体がよりよくなる」「女性が男性並みに就業すれば、人手不足も緩和される」「職員自身が働きやすい環境になれば、よりよいサービスを提供することはできない」といった、様々な意見が出ました。

最後に野田大臣から、「日曜保育や働き方のバリエーション、同一労働同一賃金の実現など、示唆に富んでいる。女性を活躍させて儲けが落ち込んだという話は聞いたことがない。女性活躍は会社を育てていくために必要であり、女性を活躍させないのはもったいないと思う経営者が増えてほしい」とのメッセージがあり、懇談会は終了しました。

女性が輝く
先進企業
2017



▶受賞企業代表者による記念撮影。

前列左より、(社福)平鹿悠真会社田理事(兼)施設長、(株)高島屋木本社長、安倍総理大臣、野田大臣、(株)東邦銀行北村頭取、後列左より、(一財)近畿健康管理センター寺田専務理事、積水ハウス(株)阿部社長、日本アイ・ピー・エム(株)キーン社長、ヒューリック(株)西浦会長

【受賞企業の紹介】

〔内閣総理大臣表彰〕

○株式会社高島屋（大阪府）



時間的制約の有無に関わらず能力発揮できるよう、育児短時間勤務者も基幹職務（マネジャー職）に積極的に配置。日曜日に働く職員向けに、日曜日限定の事業所内保育所の試験導入を行っています。

○株式会社東邦銀行（福島県）



福島県内の金融機関としては初めて、事業所内保育施設「とうほう・みんなのキッズらんど」を福島市内に開設。男性の育児休業取得率は9割を超えており、100%を目指しています。

〔内閣府特命担当大臣表彰〕

○一般財団法人近畿健康管理センター（滋賀県）



「女性力活性化研究会」を設置し、①女性管理職比率②女性営業職増加③ワーク・ライフ・バランスの3つを柱に女性の活躍促進を積極的に進め、男性管理職の意識改革にも取り組んでいます。

○積水ハウス株式会社（大阪府）



女性の現場監督を計画的に登用。女性用仮設トイレを開発して建設現場の環境改善に努めるとともに、廉価版を流通させて建設業界全体における女性の現場進出を後押ししています。

○日本アイ・ビー・エム株式会社（東京都）



常務以上の役員が1対1で女性幹部候補者の育成、昇進に責任を持つ「スポンサーシップ・プログラム」により女性役員数が着実に増加。組織・業界を超えた女性リーダーの育成にも取り組んでいます。

○ヒューリック株式会社（東京都）



社員と社長との懇談会等を通じて、トップが直接、社員のダイバーシティ推進への要望をくみ上げるとともに、ダイバーシティの重要性を伝えています。

○社会福祉法人平鹿悠真会（秋田県）



「子どもお仕事参観日」の実施等、職員同士が互いの家庭の状況等への理解を深める機会を設けて、協力し合える職場風土の構築に取り組んでいます。

受賞企業の取組は、下記ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。
内閣府男女共同参画局HP
「女性が輝く先進企業表彰」
<http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/hyosyo29.html>



【懇談会の様子】

▶懇談会でお話される野田大臣



G7男女共同参画大臣会合等について聞く会

内閣府男女共同参画局総務課

2017年12月4日(月)、「G7男女共同参画大臣会合等について聞く会」が日本学術会議講堂(東京都港区六本木)で開催されました。

「聞く会」は、男女共同参画推進連携会議企画委員会が主催して行う公開シンポジウムで、これまでも男女共同参画に関する時宜に応じたテーマをもとに、国内外の講師を招いての講演や参加者との意見交換を行っています。

今回は、司会を大崎麻子氏(男女共同参画推進連携会議企画委員)が務められ、冒頭、武川男女共同参画局長の挨拶、続いて、G7男女共同参画大臣会合、APEC女性と経済フォーラム2017、WAW!2017、女子差別撤廃委員会の最終見解のフォローアップについて、各府省担当者より報告が行われました。

①G7男女共同参画大臣会合

内閣府男女共同参画局より、G7男女共同参画大臣会合の当日の様子や成果について報告を行いました。

【報告概要】

G7男女共同参画大臣会合は、G7サミットに合わせて開催される閣僚会議の一つで、2017年11月にイタリア共和国・タオルミーナで初めて開催されました。

同会合では、イタリア共和国のマリア・エレナ・ボスキ首相府政務次官(官房長官)が議長を務め、G7(日本、アメリカ、イギリス、イタリア、カナダ、ドイツ、フランス)及びEUの男女共同参画担当の閣僚級が一堂に会し、国際社会が直面する様々な男女共同参画、女性活躍に関する課題について意見交換を行いました。日本からは、山下雄平内閣府大臣政務官が日本代表団長として出席しました。

同会合では、「女性の経済的及び政策的エンパワーメント」、「女性の政治的エンパワーメント」及び「女性に対する暴力の防止と撤廃及び人身取引の撲滅に向けた手段としての女性の経済的エンパワーメント」の3つのテーマの下で、G7における経済分野や政治分野での女性のエンパワーメント、女性に対する暴力の防止等の取組の推進に向け活発な議論が行われ、「G7男女共同参画担当大臣宣言」が取りまとめられました。

②APEC女性と経済フォーラム2017

内閣府男女共同参画局より、APEC女性と経済フォーラム2017の当日の様子や成果について報告を行いました。

【報告概要】

APEC地域の経済発展のためには、女性の新たな経済機会の創出が不可欠であるとの認識の下、APEC域内の閣僚や民間参加者が一堂に会し、「女性と経済フォーラム2017」が、ベトナム・フエにおいて開催されました。日本からは、武川男女共同参画局長、林文子横浜市長、民間代表の矢島里佳氏((株)和える代表取締役)、政府関係者らが参加しました。

このフォーラムでは、「変わりゆく世界における女性の包摂及び経済的エンパワーメントの強化」をテーマに、3つのサブテーマ(1)持続的、革新的、包摂的な成長に向けたジェンダー平等の推進、(2)女性が経営する中小企業の競争力と革新の強化、(3)人材養成におけるジェンダーギャップの縮小について議論が行われ、経済成長や女性の経済参画について、APECエコノミー間における経験、情報及び優良事例が共有されました。

そして、このフォーラムの成果は、



G7男女共同参画大臣会合等について聞く会の会場の様子①

「声明：変わりゆく世界における女性の経済的な包摂とエンパワーメント」として取りまとめられました。

また、同フォーラムでは、ロシア主導により、APEC域内における女性の起業の発展に対するマスメディア、実業界及び官界の関心を高めること等を目的として開催される女性起業家表彰イベント「APEC BEST AWARD (APEC Business Efficiency and Success Target Award)」が開催され、日本代表の矢島里佳氏（株式会社和える代表取締役）が「APEC Best Award (大賞)」と「Best Social Impact賞」の二つの賞を受賞しました。

また、本フォーラムにおいては、外務省及び経済産業省がサイドイベントを主催し、外務省からは、個別行動計画 (IAP: The Individual Action Plan) による各エコノミーにおける2020年までに管理職に占める女性の割合を高めるための取組について、経済産業省からは2017年10月に東京で行われた「APEC ジェンダー・ダイバーシティ経営フォーラム」について、イベントの当日の様子を交え報告がなされました。

③WAW! 2017

外務省総合外交政策局より、WAW! 2017の当日の様子や成果について報告を行いました。

【報告概要】

WAW! (World Assembly for Women) は、安倍政権の最重要課題の1つである「女性が輝く社会」を国内外で実現するための取組の一環として2014年から開催している国際会議であり、今回が4回目の開催です。今回のWAW!

2017では、「WAW! In Changing World」をテーマとして、女性支援の具体的な取組・実績に焦点を当てつつ、変化する世界において女性が更に活躍していくための方策等について議論が行われました。

1日目には、クリスタリナ・ゲオルギエヴァ世界銀行CEO等による基調講演が行われ、2日目には分科会として5つのハイレベル・ラウンドテーブルと2つのスペシャル・セッションが実施されました。また、3日目には、日本政府と世界銀行の共催による女性起業家支援をテーマとした特別イベントが開催され、イバンカ・トランプ米国大統領補佐官による特別講演が行われました。

会議終了後には、各分科会からの具体的な提案を元に成果文書となるWAW! 2017東京宣言を作成、公表しました。

④女子差別撤廃委員会の最終見解のフォローアップ

内閣府男女共同参画局より、2018年3月までに求められている女子差別撤廃委員会の最終見解のフォローアップについて、その経緯や報告書の骨子案、今後のスケジュールの報告を行いました。

また、内閣府、法務省から個別のフォローアップ項目に係る施策のこれまでの進捗状況について報告がありました。



G7男女共同参画大臣会合等について
聞く会の会場の様子②



農業の魅力と女性の活躍を発信！ “農業女子プロジェクト”

農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室

■女性農業者をめぐる状況

農業就業人口の半数近くを女性が占めているということをご存じでしょうか？農業経営に女性が関与すると収益性が向上するというデータもあり、女性農業者は地域農業の振興に重要な役割を果たし、農業の成長産業化を進めるうえでも欠かせない存在です。しかしながら、農山漁村における政策・方針決定過程への女性の参画は十分とはいえ、農林水産省では、次世代のリーダーとなる女性農業経営者の育成に向けた実践的研修や、女性が活躍している農業経営体の表彰等の事業を通じ、農業分野での活躍を推進しています。

■農業女子プロジェクトとは？

上述の他、農林水産省では、女性農業者の知恵を様々な企業の技術、ノウハウなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信する「農業女子プロジェクト」を平成25年から推進しています。自由な発想と取組を促進する観点から補助金は使わず、民間企業と連

携する形をとっています。

このプロジェクトは、若い女性の職業の選択肢に「農業」を加えることを目指し、女性農業者の活躍を広く知ってもらうとともに、企業と連携することで女性農業者の意識改革や経営力の発展もねらいとしています。スタートから4年余りが経過した現在、全国から600名を超える女性農業者（以下「メンバー」という）が参加しており、農業関連の企業に限らず、アパレル、百貨店、金融機関など幅広い企業34社、教育機関3校が参画しています。

（これまでの主な活動）

企業と女性農業者が連携し、これまで女性でも運転・操作しやすいトラクターなどの農機具、カラフルな軽トラックなどを開発、販売されています。女性に使いやすい製品は誰にでも使いやすく、高齢者にも好評です。この他にも快適に作業ができる作業服やアンダーウェア、メンバーの生産した農産物を使った加工商品の開発や、メンバーの協力を得て子ども向け農作業体験などにも取り組んでいます。



教育機関と連携した活動



女性のアイデアを生かして生まれた軽トラック（各地のマルシェでも活用）

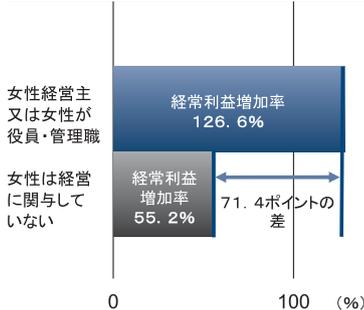


女性を対象とした農機セミナーを各地で開催

農業女子プロジェクト参画企業・教育機関

井関農機(株) 夢ある“農業女子” 応援PJ	(株)NTTドコモ NTTドコモもっとう！ モバイル生活	カネコ総業(株) 明るい農業応援！ Farm tools PJ	(株)コーセー 農業女子Beauty Vol.3 PJ	コンビ(株) コンビwis(株) 「おいしい！」を未来まで つなげようPJ	<チーム“はぐくみ”> 浦田女子高等学校 農業からはばたけ！ チャレンジ&応援PJ
(株)サカタのタネ 農業女子から始まる！ no-beeシステムでno-bee農業PJ	城北信用金庫 「作る」から「創る」へ！ ビジネス&ライフ応援PJ	象印マホービン(株) 農業女子 in ライスマイル プロジェクト ごはん会議	ダイハツ工業(株) ダイハツ×農業女子マルシェ 全国展開！PJ	(株)タニタ 健康まづくりで 地域活性化！PJ	東京農業大学 新たなワークスタイルを 提案するkawaii 農業女子育成PJ
大日本印刷(株) 農業女子の未来の あたりまえをつくるPJ	(株)近正 農作業を快適に！！ 農業女子サポートPJ	(株)東邦 汚れも悩みもスッキリ！ 農業をもっと楽しく！PJ	(株)東洋ハウジング 農業女子とかがえる 住まいのミライPJ	(株)東和コーポレーション 快適農作業応援 プロジェクト！	産業能率大学 農（みのり）の絆PJ
豊島(株) 農業女子的 ファッション改革PJ	(株)ナムコ 『農業×エンター テイメント』創出PJ	日本農業(株) 明日の農業女子を 考える日農 PJ	(株)Fabli c 「農業女子×フル 農産物取引拡大PJ	(株)丸山製作所 “きらめき農業” 応援PJ	
(株)三越伊勢丹HD 想いを「形」にする・ 伝える・届ける PJ	(株)モンベル フィールドウェア 開発PJ	ヤマト運輸(株) 農業女子×クロネコヤマトの 「物流支援を考える」PJ	(株)レンタルのニッポン 農業女子的 トイレ開発PJ	(株)ワコール すごい下着発明部 農学科PJ vol.2	
(株)エイチ・アイ・エス	(株)NHK出版	シャープ(株)	(株)東急ハンズ	日本サブウェイ(株)	
(株)パソナ農援隊	フマキラー(株)	(株)ローソン	(株)リーガロイヤル ホテル東京		

女性の経営への関与別 経常利益増加率(直近3年間)



(資料)
1. 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半年農業景況調査」(平成28年9月)による。
2. 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。



農業女子フェアin香港



国際会議で農業女子プロジェクトの活動を紹介



農業女子プロジェクトの参加申込みはこちらから

(教育機関との連携)

若い女性に農業の魅力を伝えようと平成28年11月より教育機関と連携した活動も始めました。メンバーが大学や高校に赴き農業に関する講義を行い、学生の農業インターンシップに協力する一方、学生がメンバーの農産物マーケティングに力を発揮するなどの活動も行われました。活躍する女性農業者から、就農後の体験談、農業経営に女性の視点をどのように活かしているかなど具体的な話を聞いた女子学生達からは、若い女性が農業をしていることを知り農業に対するイメージが変わった、就農に向けたイメージが湧いたという感想も寄せられました。

(活躍の場を広げるメンバー)

プロジェクトの活動を通じて、活躍の場を広げているメンバーもいます。

例えば平成29年1月及び9～10月には、香港の百貨店等で農産物や加工品のプロモーションを行う「農業女子フェアin香港」を開催、全国から10数名のメンバーが参加しましたが、これはメンバー自ら

がフェアを企画、実現させたものです。また、メンバーが国際会議にパネリストとして参加し自らの農業や農業女子プロジェクトの活動を紹介する機会も生まれました。

地域で女性農業者グループをつくり、互いの学びの場や経営力向上に向けた取組を行う活動も行われています。

(プロジェクトメンバー・参画企業等を募集中!)

農業女子プロジェクトは「自分の職業は農業」と言うことができ、よりよい農業経営を目指す気持ちのある女性農業者であれば誰でも参加できます。年齢制限もありません。関心のある方は別添QRコードからお申し込みください。またプロジェクトに参画したい企業・教育機関も随時募集しております。

「農山漁村女性の日」関連イベント

農林水産省では3月10日を「農山漁村女性の日」と定め、3月上旬に関連イベントを実施しています(裏表紙参照)。今年度も以下の行事を予定しています。一般の方も観覧可能ですので、是非ご参加ください。

- 3月6日(火)「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選(WAP100)表彰式」女性活躍に向けて先進的な取組を実践している農業経営体を認定・表彰します。
- 3月7日(水)「未来農業DAYs」農業の「これまでとこれから」を共有し競い語りあう新しいイベントです。
- 3月8日(木)「農業女子PJフォーラム2017」全国の農業女子が動画&プレゼンで地域と農業の魅力を発信します。

これまでの企業プロジェクトの主な成果

<p>井関農機 農業女子トラクタ『しろブチ』の開発 [H27.6]</p> <p>・シート位置が調整できるサスペンションシート ・日焼け防止サンバイザ採用</p> 	<p>コーセー 紫外線対策など農業での好印象メイクセミナーを実施 [H28.3]</p> <p>・屋外での作業が多い農業女子に向けた「紫外線対策&汗水に強い好印象メイクセミナー」を開催</p> 	<p>東洋ハウジング モデルハウス『na go mi no N-joy』オープン [H28.5]</p> <p>・土間を採用、農業と生活が両立しやすい間取り ・農業女子らしく自然の素材をとりこんだぬくもりの家</p> 
<p>ワコール 農作業快適インナー4種を発表 [H28.11]</p> <p>・汗をかいても濡れずに乾きやすい、農作業の動きに対応した下着を開発</p> 	<p>コンビウイズ 子ども向け農作業体験 [H29.5]</p> <p>・保育園児対象に農業女子メンバーの農場での農作業体験、栄養士・給食スタッフ対象に料理教室を実施</p> 	<p>丸山製作所 農業女子の声から生まれた噴霧器『きりり』を発表 [H29.11]</p> <p>・背当て背負いハンドルを背負いやすく改良 ・希釈倍率表を添付し薬剤の混合量がすぐわかる</p> 

女性活躍の視点からみた企業のあり方(10) 女性活躍推進とダイバーシティ

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 共生社会室室長主席研究員 矢島 洋子

近年、企業のダイバーシティ推進には、テーマの広がりがみられます。「女性」から、「高齢者」「障がい者」「外国人材」「LGBT」等へ。推進に際し、「ダイバーシティ」という概念を用いるか否か、「ダイバーシティ」概念を用いる場合でも、個々に施策を設定するのか、横断的な取組みを主とするのか、など。企業の取り組み方には様々なパターンがあるようです。

企業が「ダイバーシティ」という概念を用いる意義は、一つには、「マイノリティへの支援」というスタンスから脱し、「多様性を企業経営に有意なものとして積極的に肯定する」というスタンスを示す点にあると考えられます。同時に、各テーマの課題を、「当事者の問題」から、「組織の問題」にするという意義もあります。時間制約のある社員の短時間の勤務を認め就業継続を可能とするだけでなく、能力発揮を促す仕事の機会を与えることが、「本人のため」なのか「企業のため」なのかという見方の違いは、管理職のマネジメント姿勢に大きな影響を与えます。もう一つの意義は、個別のテーマの問題に「ダイバーシティ」という横断的視点を取り入れることで、取るべき施策や方向性が見えてくる点にあります。女性に関しては、配置や採用・登用において男女同じ基準でみるという考え方や、女性ならではの活躍を期待するよりも男女ともに活躍できる環境整備が必要という考え方が比較的浸透してきています。しかし、高度外国人材となると、「外国人ならではの」活躍を期待する一方で、「日本人と同じことができる」ことが求められるといった問題があります。女性の場合と同じような視点で考えると、

短期的に活用しようと思えば、「外国人ならではの」活躍を期待することにメリットがあるかもしれませんが、逆に、「外国人には向いていない」仕事があるという偏見が助長される可能性があります。一定の役割に固定されることで長期的な活躍やキャリア形成を見込めなくなれば、定着が進まない可能性もあります。「日本人と同じことができる」ことは組織運営においてプラスかもしれませんが、そのために採用できる外国人材の層が狭くなったり、求職者が少なくなる可能性もあります。

「ダイバーシティ」を掲げ、多様性を活かすことを重視する企業では、女性等の外形的な「属性」は、採用や職場の多様性を確保するための手掛かりであるものの、真に重要な多様性は、価値観や能力や経験等内面的なものであるという見方も出てきています。こうした考えに基づき、組織内の社員は個々に異なるとし、特定の属性にこだわった取組みは、かえって真に重要な内面的多様性を生かす取組みを阻害するとみる企業もあります。確かに、「社員は個々にすべて異なる」という考えに基づく取組みは、管理職層による現場のマネジメントや人事評価においては有用かもしれません。一方、組織において、差別や不利益を解消するためのポジティブ・アクションの視点からの仕組み作りや環境整備には結びつかない可能性があり、注意が必要です。

これからの企業におけるダイバーシティ推進においては、包括的なダイバーシティの概念とテーマ横断的な視点・施策を活用しつつ、個別のテーマが抱える問題に向き合っていくことが求められるのではないだろうか。

参考：矢島洋子「企業におけるダイバーシティ推進」

http://www.murc.jp/thinktank/rc/quarterly/quarterly_detail/201704_01



やじま・ようこ／三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社共生社会室室長 主席研究員。中央大学大学院戦略経営研究科客員教授。1989年（株）三和総合研究所（現MURC）入社。2004年～2007年 内閣府男女共同参画局男女共同参画分析官。男女共同参画、少子高齢化対策の視点から、ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティ関連の調査研究・コンサルティングに取り組んでいる。著作に、『ダイバーシティ経営と人材活用』東京大学出版会（共著）等。

Yajima Yoko

地域における女性の活躍推進⑮

女性の方で地域の課題を解決する

内閣府男女共同参画局総務課

今回は、平成28年度「地域における女性活躍推進モデル事業」から3事業を紹介します。

○非正規職シングル女性の課題・ニーズ別支援モデルプログラムの開発事業（公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会）

横浜市男女共同参画推進協会は、男女共同参画社会の実現を目的として、横浜市の男女共同参画センター3館を拠点として、男女共同参画に関する事業を実施している法人です。

同協会では、平成27年度に（一財）大阪市男女共同参画のまち創生協会及び福岡女子大学教授と共同で実施した「非正規シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」（以下「ニーズ調査」）の結果から支援策の検討が必要と考え、非正規職で働くシングル女性を対象とした支援モデルプログラムの開発事業を実施しました。ニーズ調査の結果を基に、有識者を招聘した検討会や当事者との意見交換を踏まえたプログラムの開発と試行実施を行いました。この結果、試行実施において受講者の就労への自信が高まるなど、有効なプログラムが開発されました。

○多様な視点の災害時情報共有促進ツール制作・普及啓発事業（株式会社 熊本日日新聞社）

熊本日日新聞社は、熊本県内地域に密着した情報を提供する地方紙「熊本日日新聞」（日刊）を発行する新聞社です。

熊本地震の被災地である熊本県だからこそ、平時から防災の意識を醸成することの必要性を全国に発信することができ

ると考え、住民向けの啓発事業を実施しました。発災時に的確に行動するため、必要な情報や男女間での防災意識にブレがないよう、被災者である県民からの聞き取りにより、熊本地震の経験を反映させた災害発生時の行動指針や情報共有のためのワークシートを作成しました。作成後はワークショップの開催や、新聞社が持つ地域性を生かした多様な媒体の活用やクロスメディア展開などにより、幅広く普及啓発を実施しました。

○「困難を抱える女性の自立支援強化のためのNPOネットワーク構築」事業（認定特定非営利活動法人山形創造NPO支援ネットワーク）

認定NPO法人山形創造NPO支援ネットワークは、山形県民の主体的な公益活動の発展を目指すNPO支援組織として様々な活動を行っている法人です。

DV等の女性への暴力は女性の自立を阻み、女性のひとり親家庭の多くは貧困等を抱えています。同法人では、山形県でもこうした女性が増加する一方、県内に自立支援のための民間施設がなく、効果的な支援活動が難しい状況に着目し、自立支援強化のためのネットワークを構築しました。県内全域のNPO法人を対象とした支援に対する意識や活動実態等の調査や、支援の重要性を訴えかけるなどの啓発活動を実施しました。また、ワークショップ等の研修会を開催し、ネットワークへの参加を広く呼びかけました。こうした結果、24の個人、団体からなる支援ネットワークを構築することができました。ネットワークの構築と平行して、支援情報を冊子として取りまとめ、支援を必要とする方に配布するなど、支援活動にも取り組みました。

○非正規職シングル女性の課題・ニーズ別支援モデルプログラムの開発事業



プログラム試行のようす

○多様な視点の災害時情報共有促進ツール制作・普及啓発事業



ワークシート

○「困難を抱える女性の自立支援強化のためのNPOネットワーク構築」事業



研修会のようす

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言賛同者の取組

平成26年に「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が公表され、現在160名を超える男性リーダーが本宣言に賛同しています。今回は4名の賛同者の取組を紹介します。

新時代の旗手を目指して

～人間性(ハート)と専門性(プロフェッショナルリティ)の追求～

日本の金融業界は大きな転換期を迎え、より先進的な経営が求められています。そのような中、私共金融機関は、多様な人財の人間力とその個性を存分に発揮できる仕組み、そして、それを支えるオープンなカルチャーが欠かせなくなっています。

当社は2012年度、経営計画「Ambitious 5」のもと本格的な女性活躍推進をスタートしました。ダイバーシティの意義を適切に伝えるため、「ダイバーシティ・バイブル」を作成し、全社員に配布することで意識を高めてまいりました。さらに、管理職へのダイバーシティ研修や目標となりうる女性社員によるロールモデル活動などを行い、社員の理解を深めました。その結果、女性管理職を各事業部

門にバランスよく配置することができ、目標の「女性管理職比率20%」を達成。5年前にはゼロだった女性役員が、現在4名誕生するに至りました。これらの実績を礎として、次の女性活躍の目標に「男性社員の育児関連休暇取得率」と「高度な専門性を持つ女性比率」を新たにに加え、女性活躍推進の取組を着実に進めてまいります。

当社は、2017年4月から経営計画「New Age's, Flag Bearer 5」をスタートしました。男女を問わず社員全員の「人間性」と、より高度な「専門性」を追求していこうと、まずはその仕組み作りとして、人事制度全体の見直しを行います。多様な人財一人ひとりが、新時代の旗手となる気概と、仲間を大切にする広い心を併せ持つことが、私たちのイノベティブな金融グループとしての持続的成長に繋がると確信しています。



石田 建昭
東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 最高経営責任者



ロールモデル社員が活動について議論する様子



全社員に配布している「ダイバーシティ・バイブル」

女性活躍で「新たな価値の創出」を

2018年(平成30年)は、JAXA設立15年の節目の年にあたります。4月からは新たな中長期目標期間が始まり、これまで取り組んできた技術の発展・先導、社会課題解決による価値創造をさらに加速し、技術力と革新的技術の創出につながる研究開発により、これまで以上に宇宙航空分野における中心的な役割を果たしていくことが期待されています。

労働人口の減少や情報化等、社会変化に柔軟に対応しながら、新たな価値の創出に向けた組織体制を構築するためには、労働環境の向上や働き方の改善に加え、女性を含む多様な人材の活用推進と次世代を担う人材の育成が不可欠であると考えます。

JAXAの全職員に占める女性の割合は約20%です。出産や女性に偏りがちな育児などのライフイベントの負担を軽減す

る制度を整えています。これにより、女性のみならず子育て世代が能力を発揮できる環境につなげ、広い視野を持った職員が事業に参画することで多様性が確保され、生産性の向上に有効に機能すると考えています。

次世代を担うリーダーの育成においてもキャリア形成に対する意識づけ等を目的とした研修の実施や、「キャリアメンター制度」の導入等短期的な取組と共に、女性職員を事業推進に関わる部署等に戦略的に配置し、経営に近いところで実践を積む機会を与える中長期的な育成も図っています。平成25年度に約3%だった女性管理職の割合も平成29年度は約8%と徐々に育成の効果が始まっており、今後も女性活躍推進の取組を加速していきます。



奥村 直樹
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 理事長



JAXAほしのご保育園



若手職員働き方変革研修



ジェローム・ブリュア
日本ロレアル株式会社
代表取締役社長



育児時短制度を利用するシュウ ウエムラ美容部員



シングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」

多様性は革新的なイノベーションの源

世界最大の化粧品会社ロレアルは1909年に創業以来「多様性」を提唱し、性別を越えた平等性やキャリア形成を尊重すべく、女性の活躍を積極的に推進しています。「多様性」は革新的なイノベーションの源となり、化粧品事業をけん引しています。

日本法人の日本ロレアルでは、オフィス社員の育児と仕事の両立をサポートする支援金120万円の支給、半日・1日単位の在宅勤務（年間最大12日）、看護有給休暇、とちょう保育園の利用枠を提供しています。美容部員の支援プログラムでは、業界初10歳未満の子を養育する場合の育児時短制度、妊活支援、介護休暇などの制度を導入。女性社員の意見を制度に反映することで、社員がライフステージに合わせてより柔軟で多様な働き方を選択し、長期的視野に立ったキャリア

形成を実現できるようにしています。現在、指導的地位の女性の割合は58%、産休・育休からの復職率は93%と、高い実績を誇っています。

また、社会的課題への対応として、2005年に「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」を創設し、生命・物質科学分野における若手女性科学者が研究を継続できるよう奨学金100万円を毎年4名に贈呈しています。これまでに47名が受賞し、受賞後も国内外でキャリアを切り拓いています。2016年にはシングルマザーが経済的安定を得られるようキャリア支援プログラム「未来への扉」を開講、約100名が無償講座を履修し、美容部員やオフィスワークなどの正社員としてキャリアアップを図っています。

今後とも、社内外において女性の活躍の場が広がるよう充実した制度や支援活動を推進していきます。



滝 久雄
株式会社ぐるなび
代表取締役会長 CEO・創業者



復職前セミナーの様子



社内交流の場（ぐるのわ）の様子

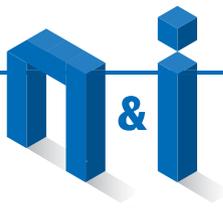
女性の力を食の発展に

“日本発、世界へ”。ぐるなびは、この企業理念のもと1996年の創業以来、日本ならではのオリジナリティを生かし、日本の食文化を守り育てることを使命に取り組んでまいりました。食は全ての人々にとって非常に身近なテーマであり女性の視点が大切です。女性が活躍し、その力を活用することが当社の成長に繋がると信じています。これまでも、ぐるなびの成長には女性の力が大きく寄与してきましたが、更なる成長のために、女性はもとより多様な価値観を持った人材が必要だと思っています。

当社は、2015年11月にダイバーシティ推進グループ（現：ダイバーシティ推進室）を新設し、女性・障がい者など多様な人材が持てる能力を最大限に発揮できる風土づくり、活躍できる環境整備を積極的に行っています。女性活躍支援の

取組としては、自らのキャリアや各人が迎えるライフステージをより前向きにとらえることができるように、キャリアステージに合わせた女性社員対象セミナーを導入するほか、育児サービスの費用補助等の制度拡充、産休・育休者への情報提供等を実施してきました。また、女性社員をネットワークした社内交流の場（ぐるのわ）を設け、互いの知見を共有しコミュニケーションの活性化を図っています。

今後、日本の食文化を世界に広げ、日本がグローバルに活躍していくために、女性の力に大いに期待しています。当社で働く人材がその能力やアイデアを発揮し、社会に貢献し続ける企業となるべく、多様な人材の活躍を推進していきます。



[News & Information]

1 News

内閣府

政府インターネットテレビ特別座談会 「家族の幸せは、家族でつくる。」 (野田聖子大臣、中山秀征さん他出演)



野田聖子内閣府特命担当大臣（男女共同参画）を囲み、中山秀征さん、セイン・カミュさん、舟木久美子さんが「チーム家族で、男性も家事や育児に参加すると良いことがある！」をテーマに座談会を開きました。チーム家族とは？良いこととは？家事や育児に上手に楽しく参加するためには？様々なお話やアイデアが飛び出しました。こちらから視聴できますので、ぜひご覧ください。

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg16511.html>

2 News

国立女性教育会館（NWEC）

「大学等における男女共同参画推進セミナー」 実施報告



11月30日～12月1日、「多様な人材を生かす大学の組織改革と新しいリーダーシップ」をテーマに86名の参加を得て開催しました。

1日目の一般財団法人女性労働協会会長の鹿嶋敬氏による基調講演「社会、組織、大学の男女共同参画は進化しているか」では、第1次男女共同参画基本計画策定から第4次の現在までのプロセスと論点を整理。男女共同参画社会の形成がゴールであり、施策などの「手段」との違いを理解することなどが提言されました。パネルディスカッションは「組織改革」「リーダーシップ」をキーワードに展開し、大学等における多様化がなぜ必要なのか、議論を深めました。

2日目は女性教育情報センターなどの見学とワークショップを実施。北海道大学・東京藝術大学・東洋大学の報告を受け、参加者は自校の課題や取組、改革に向けた取組を共有しました。キャンパスハラスメント防止の講義では、弁護士井口博氏より現状と定義、個人と組織の双方の視点からの防止策について、具体的な解説とアドバイスがありました。

3 News

厚生労働省

「平成29年度均等・両立推進企業表彰」 表彰式・シンポジウム開催報告

厚生労働省では、「職場における女性労働者の能力発揮を促進するための積極的な取組（ポジティブ・アクション）」や「仕事と育児・介護との両立支援のための取組」について、他の模範となる取組を推進している企業を「均等・両立推進企業」として、合計5社を表彰しました。表彰式は、12月15日に女性就業支援センターのホールで開催しました。

表彰式後に開催したシンポジウムでは、受賞企業の人事労務担当者をパネリストに迎え、各社の取組を紹介しながら女性活躍の推進や仕事と育児・介護との両立支援について活発なディスカッションが行われました。

<厚生労働大臣優良賞>

■均等推進企業部門（1社）

株式会社竹中工務店（大阪府）

■ファミリー・フレンドリー企業部門（4社）

株式会社東邦銀行（福島県）

伊藤忠商事株式会社（東京都）

小田急電鉄株式会社（東京都）

日本ガイシ株式会社（愛知県）

受賞企業の取組は以下のサイトよりご覧いただけます。

<http://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/award/gp5.html>

4 Info

農林水産省

『農業女子PJフォーラム2017』開催



農林水産省が推進する農業女子プロジェクトのイベントの1つとして、「農業女子PJフォーラム2017」を開催します。全国の農業女子メンバーが9ブロックに分かれ、ネットワーク力を活かし、日々の取組や地域の農業の魅力をPRする動画を制作しました。その「農業女子PJ地域別PRムービー」のNo.1を、フォーラム当日決定します！下記ホームページより一般観覧を募集していますので是非ご応募下さい。

『農業女子PJフォーラム2017』

日時：平成30年3月8日（木）

13：30開場 14：00～16：30

場所：都道府県会館101会議室

（東京都千代田区平河町2-6-3）

参加費：無料（先着250名）

【農業女子PJフォーラム2017 特設ページ】

<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/award/2017/>

男女共同参画センターだより

News From Center

仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台

本市の男女共同参画推進センターは、昭和62年開館の「エル・パーク仙台」と平成15年開館の「エル・ソーラ仙台」の2館体制で運営しています。両館ともに、交通の便の良い商業ビル内にあり、性別・年齢を問わず多くの市民に親しまれています。

エル・パーク仙台は、市民活動グループの支援機能のほか、ホールや創作室など多彩な貸室で文化活動拠点としても活用され、エル・ソーラ仙台は相談機能や男女共同参画に関わる情報の収集・提供機能を担うなど、それぞれに機能を分担しています。

これらのセンターの指定管理者である（公財）せんだい男女共同参画財団と本市では、特に東日本大震災以降は、震災での経験を踏まえ、平時から女性が地域や企業でリーダーシップを発揮できるような支援に力を入れています。

ノルウェー王国からの支援で設立した「東日本大震災復興のための女性リーダ

ーシップ基金」を活用し、平成27年に企業等の女性管理職候補育成を開始。さらにノウハウを活かして28年には地域での防災・まちづくりで活動する女性のリーダー候補育成を開始。5か年で各100名の修了生輩出を目標としています。参加者からは「職場や地域での実践に活かしている」、



女性管理職候補育成プログラム修了式の様子



地域版女性リーダー育成プログラムでの一コマ

推薦元の企業等からは「毎回、目に見えて受講者の変化を感じた」などの報告が寄せられ、手ごたえを感じています。

こうした女性の育成支援と並行し、企業向けセミナーや出前講座、図書資料

スペースでの男性の子育てをテーマとした図書の紹介展示などを行い、働く女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進についての企業や男性の意識啓発の取り組みを行っています。

これからも、地域のような団体、企業、関係機関等と連携しながら、多様な市民が集う男女共同参画の拠点として、様々な取り組みを進めてまいります。

編集後記

今年も6月23日から始まる男女共同参画週間のキャッチフレーズを今月一杯募集しています。今年のテーマは、「スポーツに関わるあらゆる分野での女性の参画を推進し、様々なスポーツに男性も女性も親しみ、チャレンジし、活躍できるようになるためのキャッチフレーズ」です。

今年も素晴らしいキャッチフレーズの応募をいただきますようスタッフ一同お待ちしております。

さて、いよいよ2月9日から平昌（ピョンチャン）オリンピックが始まります。また、3月9日には同パラリンピックも開催されます。この間、スキー、スケート等のウインタースポーツの熱い戦いが繰り広げられることとなります。頑張っている選手たちに最大限のエールを送りたいと思います。（編集デスク K.H）

【2月号表紙】

アジア諸国で交流の架け橋となり活躍している女性をイメージしてデザインしました。

デザイン／山浦恵梨子

Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌
「共同参画」2月号

 <http://www.gender.go.jp>

 <https://www.facebook.com/danjokyodosankaku/>

第109号 ● 2018年2月10日発行
編集・発行 ● 内閣府
〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局総務課
電話 ● 03-5253-2111（代）
印刷 ● 日昇印刷株式会社

農山漁村女性の活躍を支援します

農山漁村においては、女性の役割の重要性がますます高まっていますが、農林水産業経営における女性の参画状況はまだまだ十分ではありません。また、女性が働きやすい作業環境の整備や就業支援、育児・介護等に関わる男女の負担の軽減などのワーク・ライフ・バランスや、固定的な性別役割分担意識とこうした意識に基づく行動の変革に向けた取組が必要です。

このため、農業委員会の委員、農業協同組合等の役員等への女性登用の一層の拡大を始めとした農山漁村における女性の政策・方針決定過程への参画拡大を促進するとともに、女性の経営上の位置づけの明確化や経済的地位の向上のために家族経営協定の締結など必要な取組を推進します。

3/6 農業の未来をつくる女性活躍経営体 100 選 (WAP100) 表彰式

女性活躍推進に向けて先進的な取組を実践している農業経営体を認定し、表彰します。

日時：2018年3月6日(火) 13:30～

場所：渋谷区文化総合センター大和田 6階「伝承ホール」

主催：(公社)日本農業法人協会

後援：農林水産省、内閣府男女共同参画局

協力：農山漁村男女共同参画推進協議会 (株)日本政策金融公庫

申込みなど詳細は URL・QR コードにて：

http://hojin.or.jp/standard/100/cat2391/29wap100_award.html



3/7 未来農業 DAYS

農業の「これまでとこれから」を共有し競い語り合う新しいイベントです。

日時：2018年3月7日(水) 12:00～

場所：東京大学安田講堂

主催：未来農業 DAYS 実行委員会

特別協賛：公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

後援：農林水産省 お申込み：ご自由にご来場ください。

詳細は URL・QR コードにて：<https://www.mirainogyodays.org/>

●アワード部門：農山漁村女性活躍表彰

女性活躍推進のために積極的に活動している個人・団体を表彰します。

担当：農山漁村男女共同参画推進協議会

アワード詳細は URL・QR コードにて：<https://www.nca.or.jp/support/farmers/common/>

●コンペ部門：第2回 大地の力コンペ プレゼン発表&表彰式

若者と女性の力で未来農業を拓く。アイデアコンペの表彰式です。

担当：一般社団法人 女性未来農業創造研究会

コンペ詳細は URL・QR コードにて：<https://daichi-no-chikara.awable.org/>



3/8 農業女子 PJ フォーラム 2017

農業女子が動画&プレゼンで農業の魅力を発信します。

日時：2018年3月8日(木) 14:00～

場所：都道府県会館 101 会議室

主催：農業女子PJフォーラム 2017 実行委員会

定員：先着 250 名

申込みなど詳細は URL・QR コードにて：<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/>

